

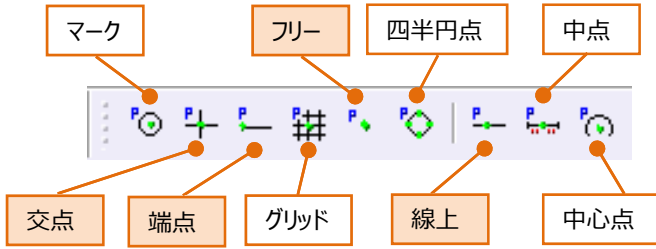
ピックモード/OSNAP

編集時に加筆・修正する対象を選択するピックモード。
 ピックモードは、目的の位置を正確に掴むために各目的に合わせて設定が可能です。
 AutoCADと機能が似ているので同じ感覚で操作が可能です。

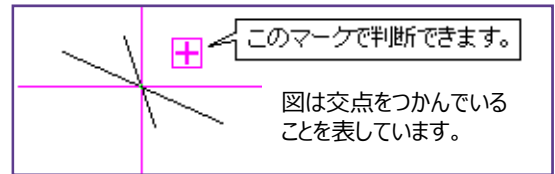
■ ピックモード/OSNAP

メリット：補助点なしで目的の位置を正確につかむことができるこの機能。上手に利用することで作業の効率が格段にアップします！

ピックモード



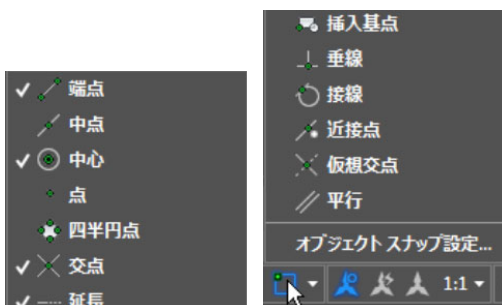
ピックモードは、入力・編集時の基準位置をマウス指定する時、目的の位置を正確につかむための機能です。



マーク 	グリッド 	線上 おすすめ!
交点 おすすめ! 	フリー 必須ON! 	中点
端点 おすすめ! 	四半円点 	中心点

AutoCADのOSNAP

建設CADのピックモードは、AutoCADの [OSNAP] に近いので同じ感覚で操作できます。



選択モード

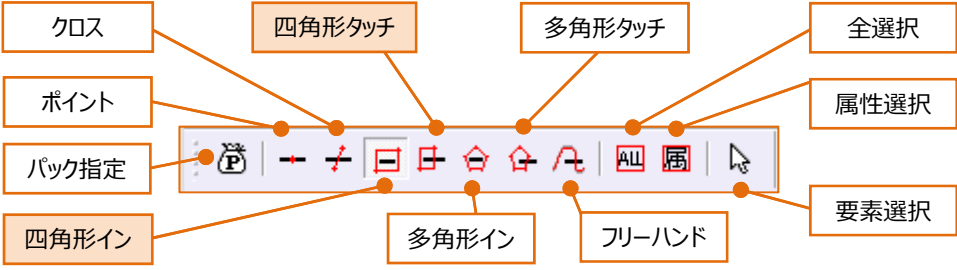
編集時に加筆・修正する対象を選択する選択モード。
 選択モードは、対象を的確に選択するために各目的に合わせて設定が可能です。
 AutoCADと機能が似ているので同じ感覚で操作が可能です。

■ 選択モード

メリット：対象を的確に選択することができるこの機能。細かい図面ほど大きな威力を発揮します！

選択モード

選択モードは、ポイントでクリックしたり、範囲を指定して要素を選択する機能です。



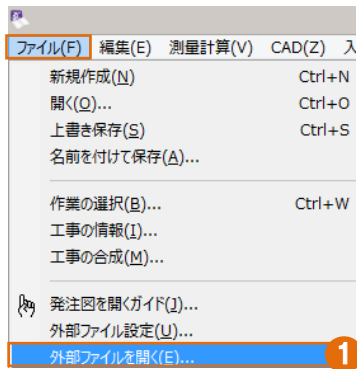
<p>ポイント </p> <p>クリックした要素を選択します。</p>	<p>クロス </p> <p>線分と交わる要素を選択します。</p>
<p>四角形イン </p> <p>対角指定した四角形範囲内の要素を選択します。</p> <p>おすすめ!</p> <p>ポイント選択と兼用できます。</p>	<p>四角形タッチ </p> <p>対角指定した四角形範囲内の要素、および四角形に交わる要素を選択します。</p> <p>おすすめ!</p> <p>AUTOCADの右下→左上範囲選択と同様</p>
<p>多角形イン </p> <p>領域指定した多角形内の要素を選択します。</p>	<p>多角形タッチ </p> <p>多角形上に交差する要素、および多角形内の要素を選択します。</p>
<p>フリー </p> <p>ドラッグした軌跡と交わる要素を選択します。</p>	<p>全選択 </p> <p>インプットバーで選択した『選択対象』全ての要素を選択します。</p>

他CADデータの読み込み①

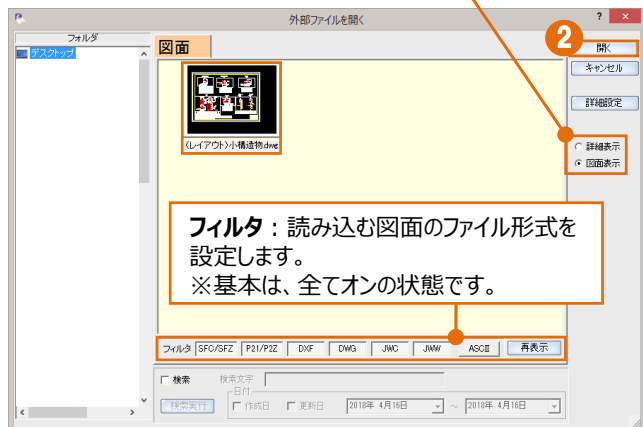
他CADで作成された図面の読み込みについて形式別にご説明します。
はじめに、レイアウト空間で作成されたDWG図面からご紹介します。
縮尺の設定がCADで違うため、読み込んで修正が難しかったというあなたに！

■ DWG（レイアウト空間）の読み込み

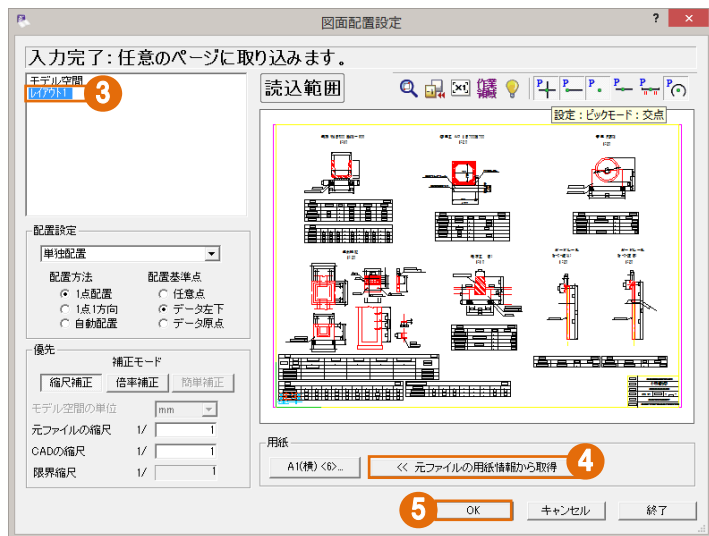
メリット：レイアウト空間で作成されたDWG図面は、用紙や縮尺も設定要らず！



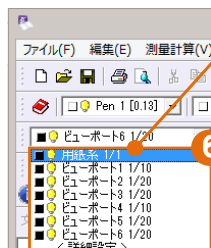
① 詳細表示：リスト化して表示します。
② 図面表示：サムネイル表示します。



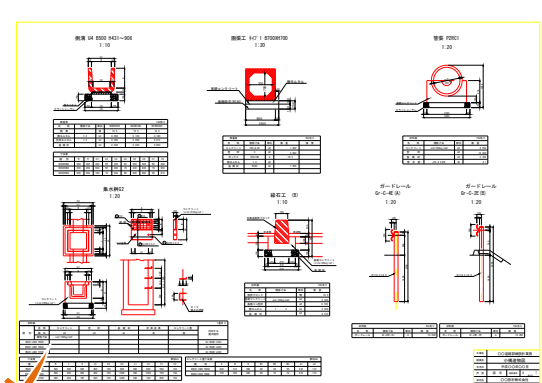
- ① [ファイル-外部ファイルを開く] をクリックします。
- ② ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- ③ 図面配置設定より、「レイアウト」を選択します。
- ④ 用紙サイズも他CADで設定していますので、[元ファイルの用紙情報から取得] をクリックします。
- ⑤ [OK] をクリックします。
- ⑥ レイアウト空間で作成されたDWGデータは、設定された縮尺がそのまま取り込まれます。



他CADのレイアウト空間で作成された図面は、縮尺がそのまま取り込まれます。

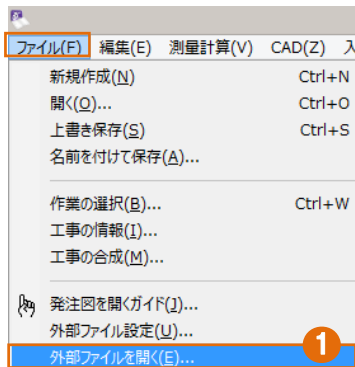


他CADデータの読み込み②

他CADで作成された図面の読み込みについて形式別にご説明します。
次に、モデル空間で作成されたDWG図面をご紹介します。
縮尺の設定が各CADで違うため、読み込んで修正が難しかったというあなたに！

■ DWG（モデル空間）の読み込み

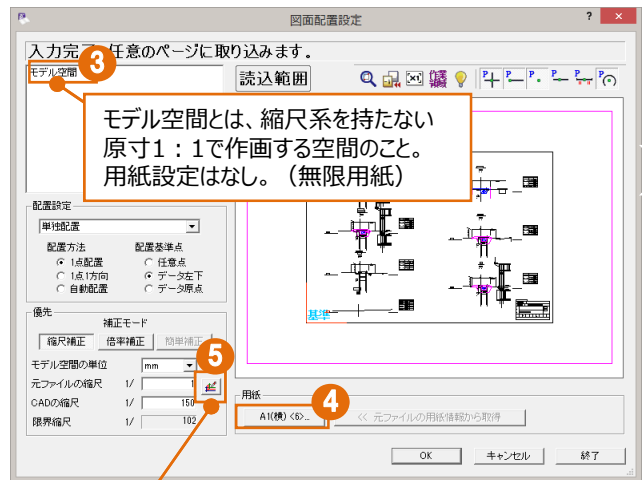
メリット：モデル空間で作成されたDWG図面に必要とされる縮尺の設定も、これさえマスターすれば楽々！



- ① [ファイル-外部ファイルを開く] をクリックします。
- ② ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- ③ 図面配置設定より、「モデル空間」を選択します。
- ④ 用紙サイズを設定します。
- ⑤ [縮尺計測コマンド] をクリックします。
- ⑥ 図面上の距離がわかっている箇所2点を順にクリックします。
- ⑦ [表示距離] に図面の寸法距離を入力します。
- ⑧ [CADの縮尺] が設定されます。
- ⑨ [OK] をクリックします。



表示距離：明記されている寸法距離を入力します。



⑥

⑦

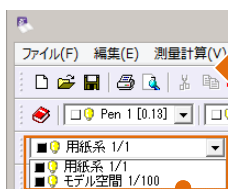
⑧

⑨

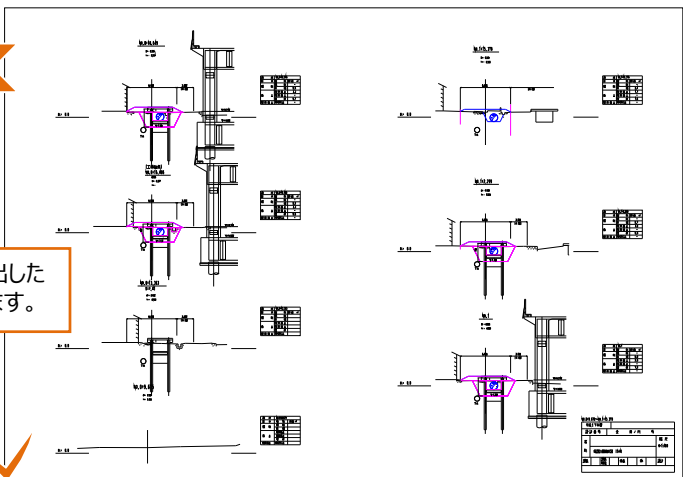
2,000 (水路)

図面上の距離がわかっている箇所2点を順にクリック。

縮尺計測コマンド：図面から縮尺を算出するための機能



縮尺計測コマンドから算出した「CADの縮尺」が連動します。

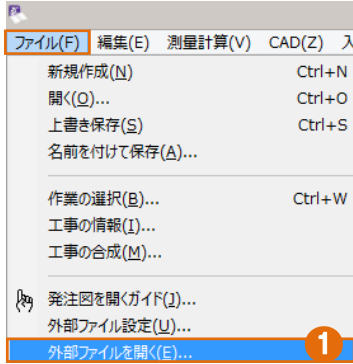


他CADデータの読み込み③

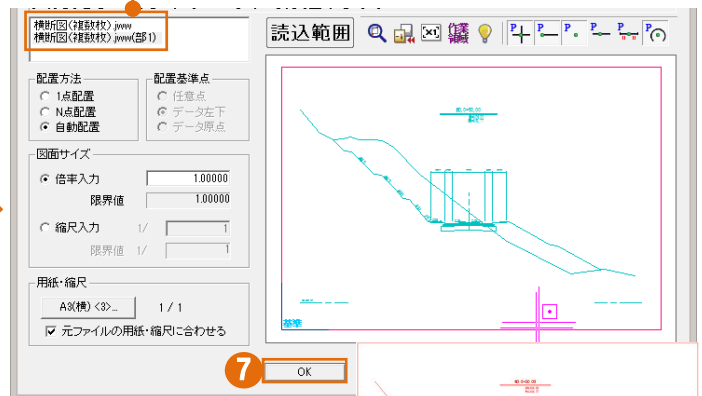
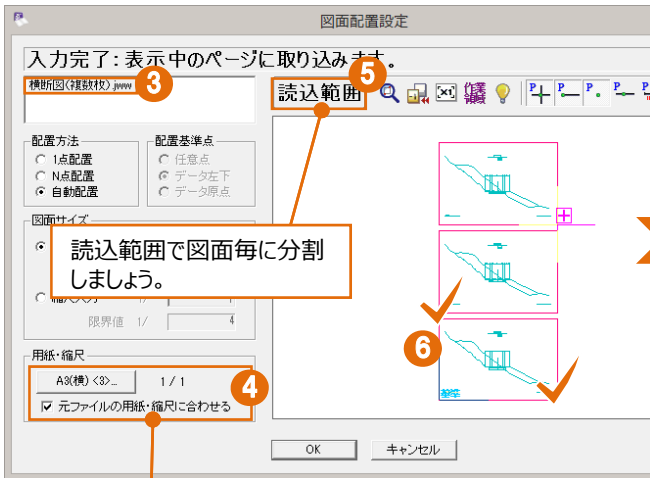
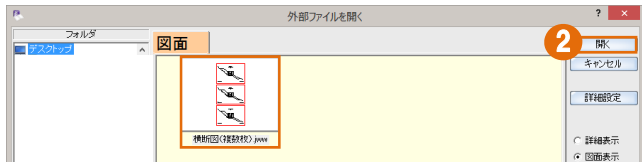
他CADで作成された図面の読み込みについて形式別にご説明します。
最後に、JWWデータの読み込み方法についてご紹介します。
縮尺の設定が各CADで違うため、読み込んで修正が難しかったというあなたに！

JWWの読み込み（1ファイルに複数図面）

メリット：JWWデータに限らず、1ファイルに複数の図面が存在する場合に、1枚ずつに分けて読み込むことができます。



- ① [ファイル-外部ファイルを開く] をクリックします。
- ② ファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- ③ 図面配置設定より「ファイル名」を選択します。
- ④ 用紙サイズは「元ファイルの用紙・縮尺に合わせる」のチェックをオンにします。
- ⑤ [読込範囲] をクリックします。
- ⑥ 1図面の領域を対角で範囲選択します。
- ⑦ [OK] をクリックします。



JWWデータは、元データの用紙設定が取り込めます。

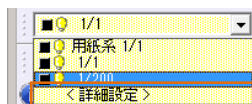
POINT

縮尺の設定について



活用Plus11では、読み込んだ図面の縮尺の設定方法をご説明しています。ご参照下さい。

詳細設定について



データが所属する縮尺を確認できます。

No.	表示	名称	色	データ	縦縮尺	横縮尺	原点X	原点Y	回転角	座標系
1	○	用紙系	1		1	1	0.000	0.000	0.0000	
2	○	1/1	1		1	1	0.000	0.000	0.0000	測体系
3	○	1	1	○	200	200	0.000	0.000	0.0000	測体系

PDF取り込みアシスト

発注図書がPDF。
CADに取り込んで編集できない、そんなあなたにおススメです！

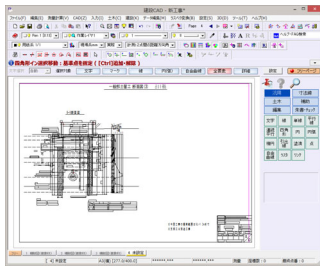
オプション：PDF取込みアシスト
定価（税抜）：¥100,000

PDF取り込みアシスト

メリット：PDFデータを利用して一から図面を起こすのは、時間も手間もかかります。デジタルPDFなら、CADデータに一発変換で活用の幅も広がります。

PDFの種類

デジタルPDF



CADから直接PDF
変換したデータ



CADデータに
変換可能

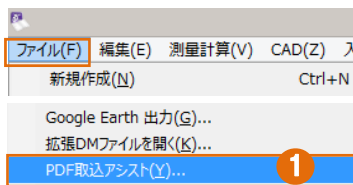
ラスタPDF



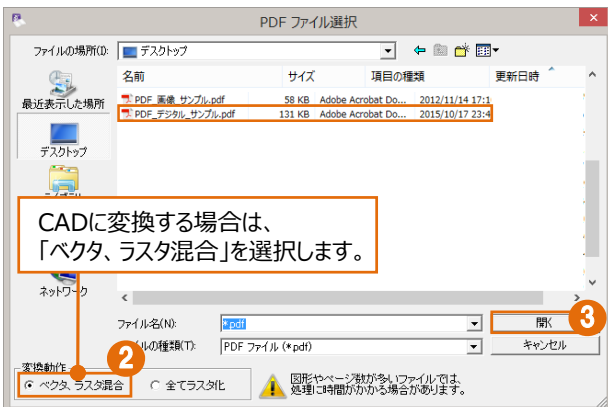
紙からPDFに
変換したデータ



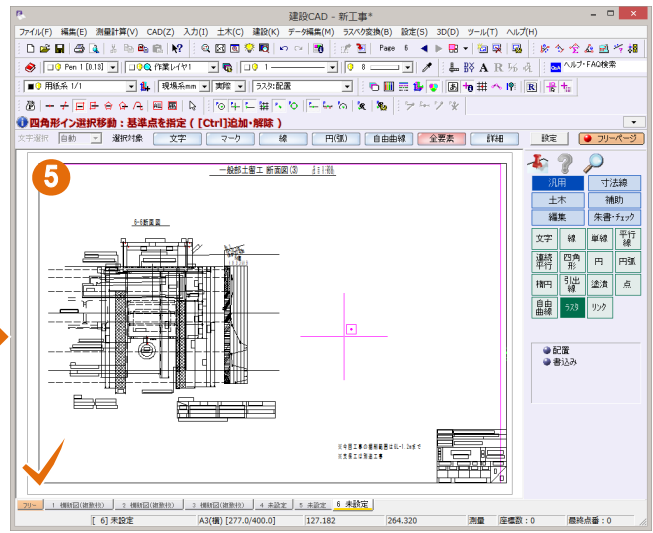
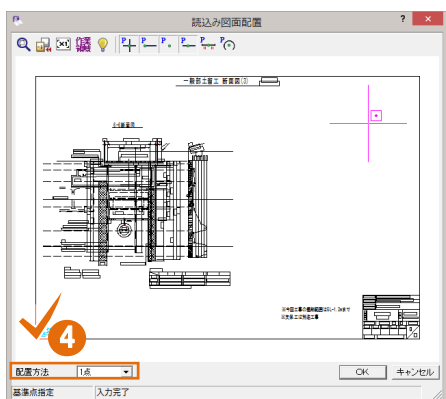
画像として貼り付け、
トレースは可能



- ① [ファイル-PDF取込アシスト] をクリックします。
- ② 変換動作は「ベクタ、ラスタ混合」を選択します。
- ③ PDFファイルを選択し [開く] をクリックします。
- ④ 配置方法は「1点」に設定し、図面上の1点をクリック後、[OK] をクリックします。
- ⑤ 配置位置をクリックし、文字・線の編集が可能になります。



CADに変換する場合は、
「ベクタ、ラスタ混合」を選択します。



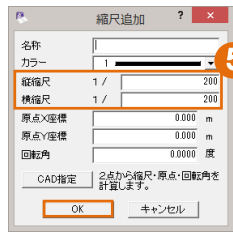
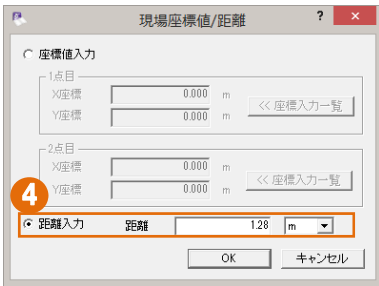
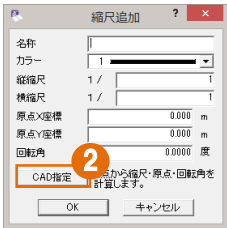
縮尺の設定

CADデータに変換後のPDFはもちろん、DXFにDWG、JWWからSXFまで、縮尺が合わない悩みは尽きないものです。そんな悩みもこの機能で一発解決！

■ 縮尺設定（距離指定）

メリット： CADデータに変換後のPDFはもちろん、他CADのデータや複数の縮尺が混在しているCADデータまで、この操作で縮尺を合わせる事が可能です。

縮尺追加

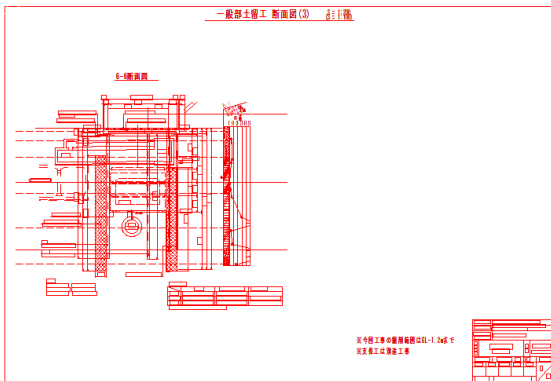
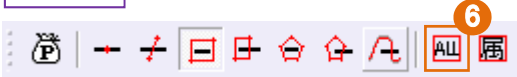


- ① ツールバーより [縮尺追加] をクリックします。
- ② [CAD指定] をクリックします。
- ③ 図面上の距離がわかっている箇所2点を順にクリックします。
- ④ [現場座標値/距離] は「距離入力」を選択し、距離・単位を入力します。
- ⑤ 算出後の縮尺を確認し [OK] をクリックします。
- ⑥ ツールバーより [全選択] をクリックします。
- ⑦ 算出された縮尺を選択します。
- ⑧ 任意の位置をクリックし、縮尺の割り当てが完了します。
- ⑨ ツールバーより、計測コマンド [2点間の距離方向角] をクリックし、寸法表示区間をクリックして長さの確認を行います。

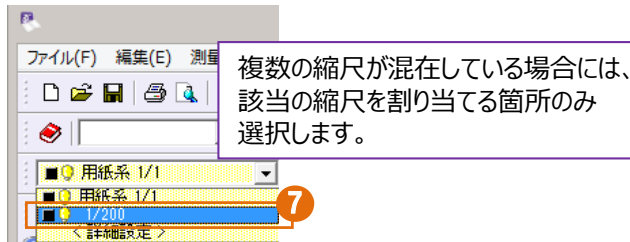
POINT 図面に座標系を付加するには？

活用Plus21では、図面に座標系を付加し、縮尺を算出する方法をご説明しています。ご参照下さい。

全選択

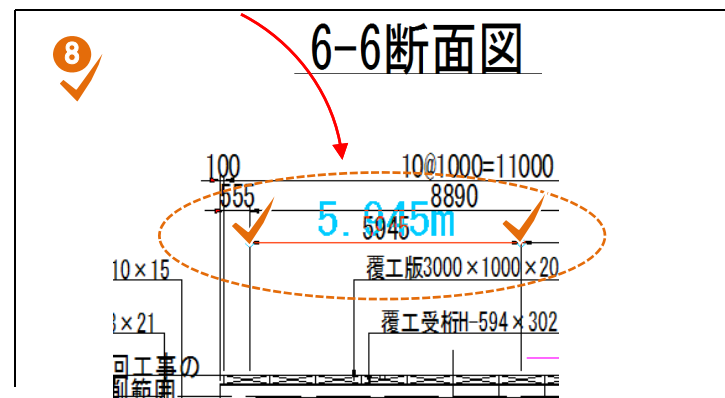


縮尺の割り当て



複数の縮尺が混在している場合には、該当の縮尺を割り当てる箇所のみ選択します。

計測コマンド



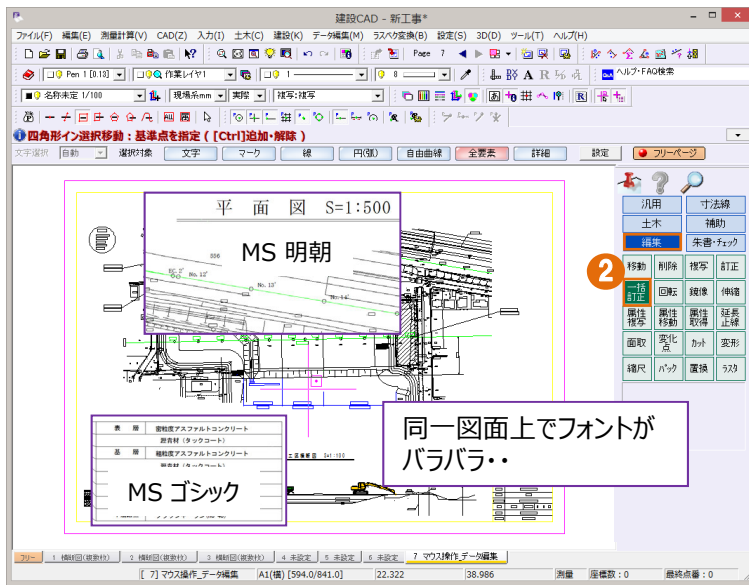
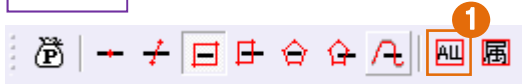
一括訂正

もらったデータを開いてみたら、フォントはバラバラ、図面はカラフル。
そんな時には一括訂正で細かいご要望にお応えします。

■ 一括訂正（文字フォント）

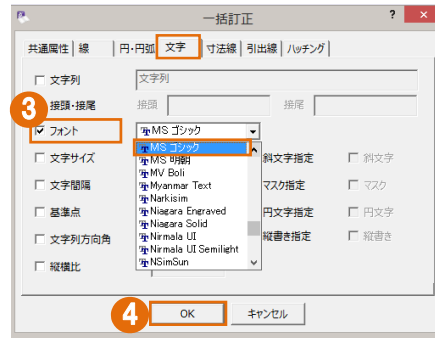
メリット：図面上のバラバラのフォント、サイズ、間隔の文字列に対して、フォントのみ、サイズのみなど細かく条件を設定して訂正することができます。

全選択



- ① ツールバーより [全選択] をクリックします。
- ② [編集—一括訂正] をクリックします。
- ③ [文字] タブ「フォント」のチェックをオンにし「MSゴシック」を選択します。
- ④ [OK] をクリックします。

文字フォント

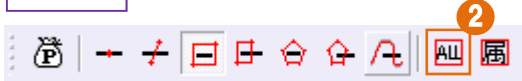


■ 一括訂正（カラー）

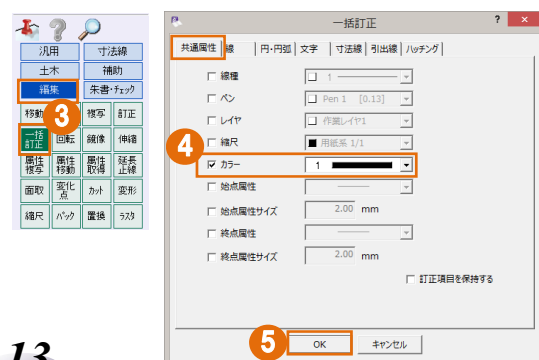
メリット：図面上のバラバラの色、太さの要素に対して、色のみモノクロに、など細かく条件を設定して訂正することができます。



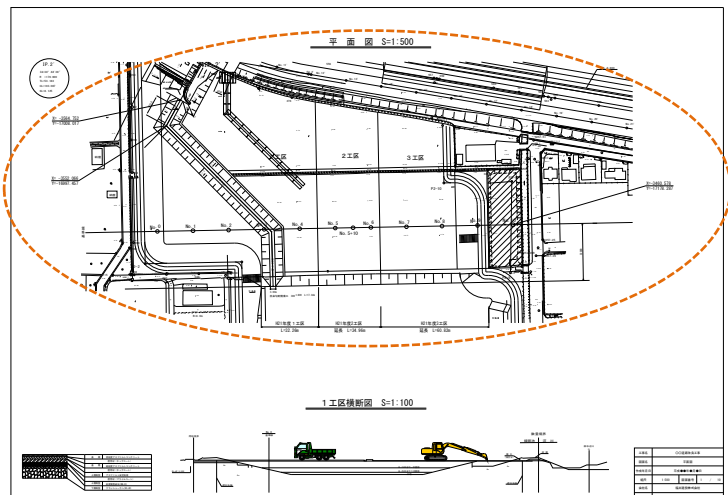
全選択



カラー



- ① ツールバーより [カラー表示] をクリックします。
- ② [全選択] をクリックします。
- ③ [編集—一括訂正] をクリックします。
- ④ [共通属性] タブ「カラー」のチェックをオンにし、「1：黒」を選択します。
- ⑤ [OK] をクリックします。

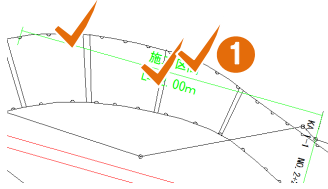


基本だけでは物足りない方へPlusOne+

一括訂正は、コマンドを押さなくても画面上のツールバーで変更が可能！

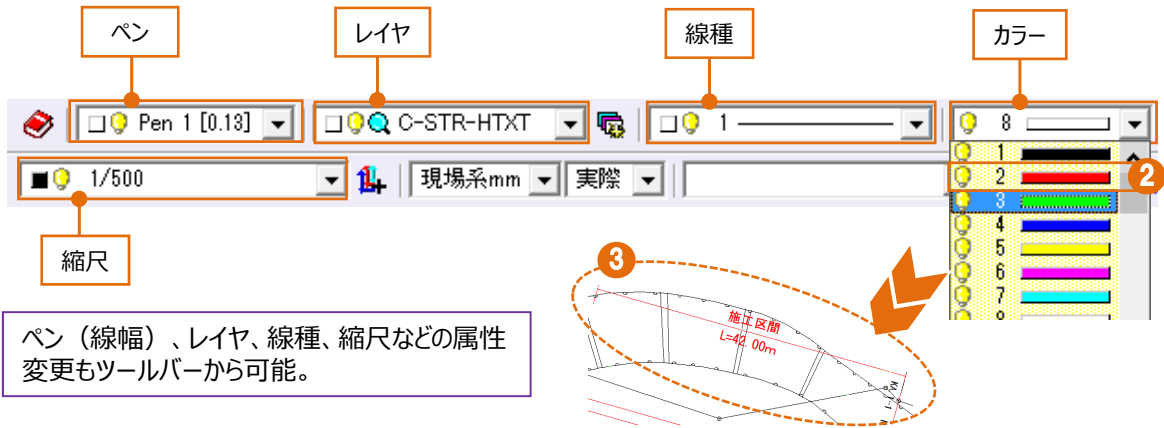
■ 一括訂正（ツールバー）

メリット：訂正する対象を選択し、ツールバーからペン・レイヤ・線種・カラー・縮尺などの属性を簡単に一括変更できます。



カラー変更したい要素を選択。

ツールバー



ペン（線幅）、レイヤ、線種、縮尺などの属性変更もツールバーから可能。

- ① 訂正する対象要素を選択します。
- ② ツールバーより【カラー】で色を選択します。
- ③ 設定したカラー属性に変更されます。

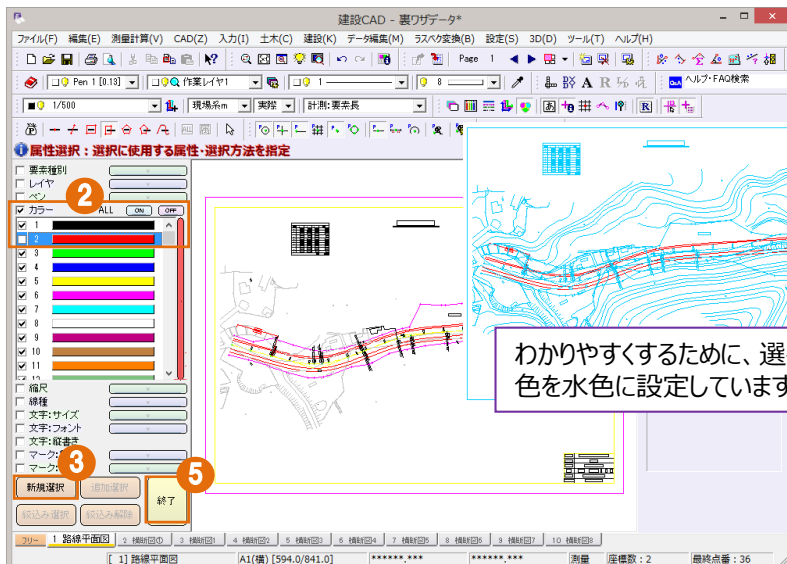
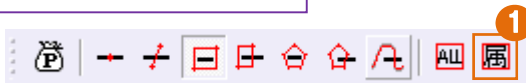
■ 一括訂正（属性選択）

メリット：ペン・レイヤ・線種・カラーなど、要素の持つ属性ごとに選択が可能！赤以外の要素を黒に変更したい・・・そんな方は必見です！

■ 今回の抽出条件と変更内容

- ・属性選択でカラー「2:赤」以外を選択
- ・カラー「1:黒」へ変更

属性選択



わかりやすくするために、選択色を水色に設定しています。

- ① ツールバーより【属性選択】をクリックします。
- ② 「カラー」のチェックをオンにし、「2:赤」のチェックをオフにします。
- ③ 【新規選択】をクリックします。
- ④ 図面上の赤以外の要素が選択されますので、ツールバー【カラー】より【1:黒】を選択します。
- ⑤ 【終了】をクリックします。
- ⑥ 図面上、任意の位置をクリックし、選択を解除します。赤以外の要素が黒に変更されます。

